

# 平野委員提出資料

「自動化の自動化」によって自動化設計コストが下がるため、これまで自動化が難しかった少量業務でも実現可能となり、労働力の代替となりうる

## 手動での自動化

- 自動化するために大量のシナリオを作成
- イレギュラーケース追加や商品改定などでメンテナンスコストが発生
- 自動化領域を拡大すると、初期コストと共にメンテナンスコストも発生するためROIが低い



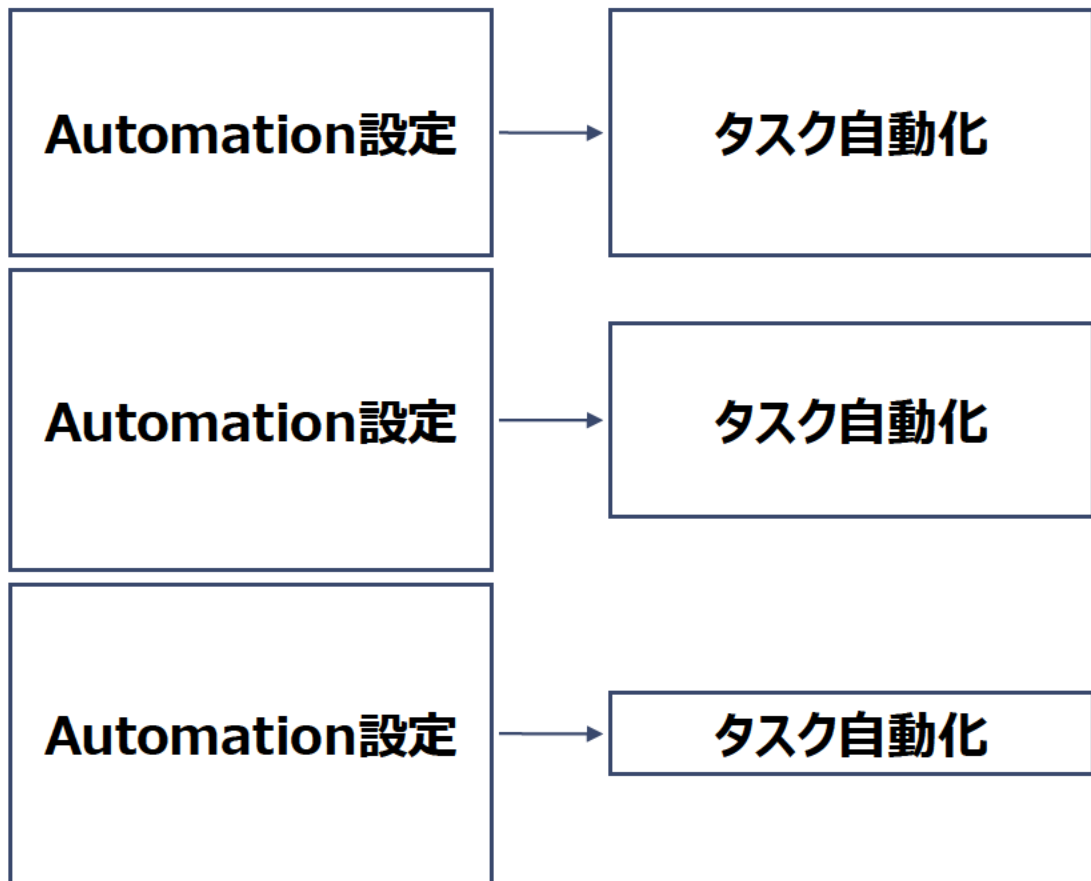
大規模言語モデルと  
ドメインナレッジを利用して  
**自動化設計コストを極小化**

## 自動化の自動化

- 少量多品種業務での自動化を実現
- 自動化自体が自動化されるため、メンテナンス対応は初期コストに含まれる

# ロングテールとなっている少量業務を自動化するにはナレッジ集約が必要

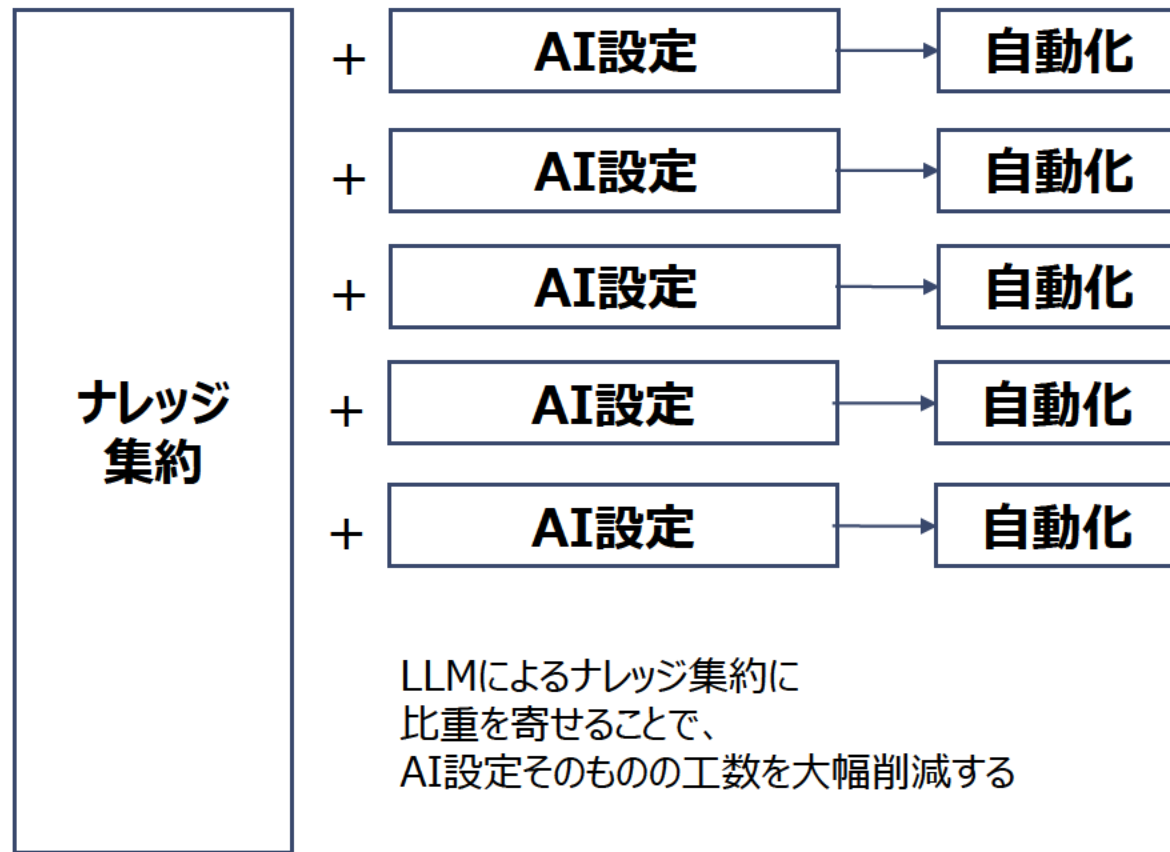
## 一般的な自動化プロジェクト



Automationの  
複雑度は上がり

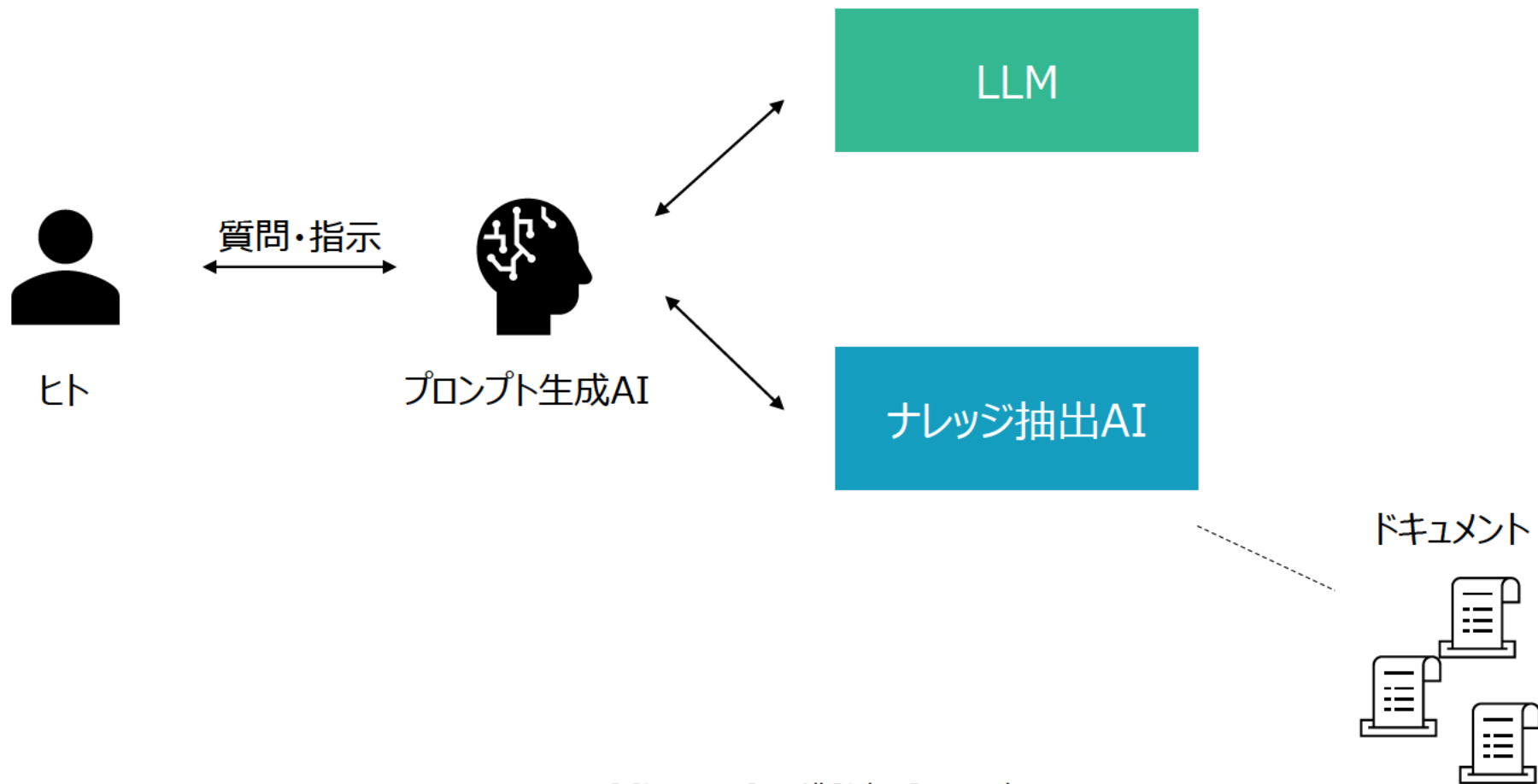
自動化によるインパクトは  
減少していく

## 自動化の自動化



LLMによるナレッジ集約に  
比重を寄せることで、  
AI設定そのものの工数を大幅削減する

# ナレッジ集約するにはプロンプト生成AIが重要



【人間の質問】  
“先月がんと診断されました。支払われる保険料を教えてください。”

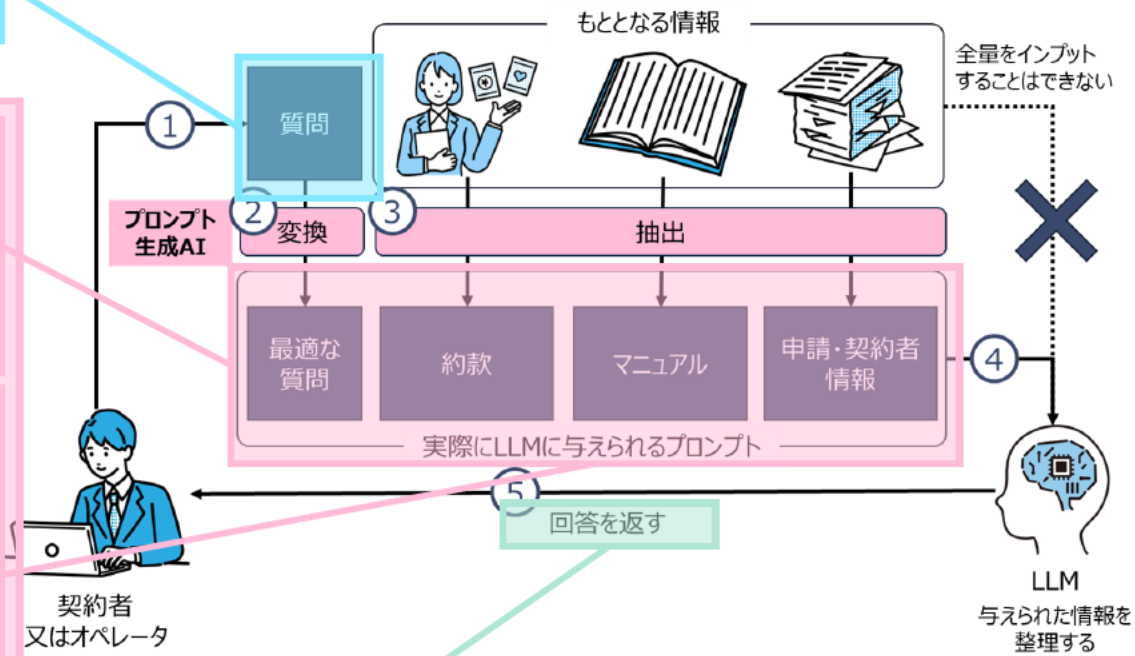
## プロンプト生成AI

【プロンプトの最適化】  
**2023年7月にがんと診断されました。支払われる金額を教えてください。**  
#出力形式（※支払金額確認の出力形式テンプレートを指定）  
・加入済みの保険商品と、支払金額を記載してください。  
・根拠を箇条書きで記載してください。参照元も表示してください。  
・判断に必要な情報が不足している場合、どのような情報が無いために回答ができないか教えてください。

質問の  
変換

【約款・マニュアル・契約者情報などからプロンプトに付加する情報】  
問い合わせ者：山田太郎さん  
商品：シナモン3大疾病所得保障保険（5年有期年金）  
加入日：2020年3月1日  
ステータス：責任期間中  
既往歴：なし  
約款内容：  
・保障内容：生存している限り 最長5年間 年額120万円（約款p.xxx）  
・生まれて初めて所定のがんと診断確定された場合のみ対象（約款p.xxx）  
・責任開始の日から数えて90日以内にがんと診断確定されたとき対象外（約款p.xxx）  
・上皮内がん・非浸潤がん・大腸粘膜内がん等は対象外（約款p.xxx）

情報の  
付加



【回答】  
実際のがんの診断種類が記載されていないため、どのレベルのがんに該当するか判断できません。  
上記に該当しない場合、山田太郎さんは「ジャスト3大疾病所得保障保険」に基づき、2023年7月にがんと診断された場合の保障内容に従い年額120万円の給付金が最長5年間支払われます。  
**根拠**  
・保障内容：約款に記載されている通り、生存している限り最長5年間、年額120万円が給付される（約款p.xxx）。  
・がんの診断：保障対象となるのは生まれて初めて所定のがんと診断確定された場合のみ（約款p.xxx）。上皮内がん・非浸潤がん・大腸粘膜内がん等は対象外（約款p.xxx）  
・診断のタイミング：責任開始の日から数えて90日以内にがんと診断確定されたときは対象外となります（約款p.xxx）。  
山田太郎さんの加入日は2020年3月1日で、診断されたのは2023年7月なので、この制限は適用されません。